

高校生福祉文化賞エッセイコンテストとは

「福祉」という言葉から、ハンディキャップのある人への社会的援助やボランティア活動を連想する人は少なくないでしょう。「福祉（ふくし）」という言葉の本来の意味は「人のしあわせ」です。したがって、100人の人がいれば100通りの「ふくし」があってもいいはず。36℃の言葉」というキャッチフレーズは、既存のイメージだけではなく、応募者自身の体温が伝わる言葉で「ふくし」を語ってほしいという思いが込められています。エッセイを書くことが、「ふくし」の本来の意味を吟味して身近にある幸せを考え、また自分自身を見つめ直すきっかけになれば、と願っています。初めて実施した2003年度は、5,550点に上る応募がありました。昨年、第14回の応募総数は8,592点。開催回数を重ねるにつれて、様々な学校から多くの高校生が応募してきています。800字という文字数は生徒にとって書きやすく、テーマも取り組みやすいものであると、全国の高等学校の先生方から評価をいただいています。

ご指導いただいた高等学校の先生方からのご意見

第14回高校生福祉文化賞エッセイコンテストの実施時に先生方から寄せいただいたご意見の一部を紹介します。

参加の理由は、高校生が日頃の生活の中でふと思ったこと、感じたこと、考えたことを書くのいいコンテストでしたから。人とのつながりや助け合いなど周囲に目を向けることの大切さに気づかされるから。入賞作品の拝読をしました。高校生らしさが出ていて素敵でした。小論ではなくエッセイというのがいいと思いました。社会に目を向けながらも、ムリせず書くことができますので。

◎山形県立高島高等学校 荒井 ゆり子 先生

本校は学校近くの医療機関や福祉施設、特別支援学校との地域交流ボランティアをJRC同好会を中心に行っていることから、生徒達の活動、想いを「かたち」にする良い機会と考えました。

◎千葉県立四街道高等学校 高野 直美 先生

福祉=人のしあわせと定義し、自分の身近なところから、社会全体のことを考えていくことができる画期的な企画だと思います。

◎山梨県立都留高等学校 羽田 あゆみ 先生

参加の理由は、小論文の授業の一環として取り組みやすいテーマであるからです。テーマ、字数、メ切り日、いずれも取り組みやすいコンテストです。

◎長野女子高等学校 上野 由美 先生

作文の課題の一つとして授業で取り上げました。「エッセイコンテストに参加する」ことが生徒たちのモチベーションを高める効果を期待したためです。

◎東大谷高等学校 丸谷 一友 先生

「福祉」ということが、ごく身近にあることに気付いて、自分が様々な人、地域、社会や世界とつながっているという実感を持ってもらいたいと思い、参加させていただきました。

◎宮城県富谷高等学校 千葉 裕子 先生

国語表現学習の一環として、高校生にとって身近なテーマであり、字数も適度で非常に取り組みやすかったです。エッセイという形式に取り組むのが初めてという生徒も多かったのが参加理由です。また、福祉に理解があり、興味を示している生徒に貴学を意識させるきっかけとしてエッセイコンテストを使った部分があります。

◎鹿児島県立大口高等学校 三原 純孝 先生

生徒達が進路を考える時、「福祉」は介護に限定して捉える傾向にありますが、「ふくし」と言い換えて、幅広く考えることで、現在の自分と目標とする進路、そして、生きていく社会がひとつに結び付くことを理解できる良い企画だと思います。本エッセイをきっかけにして将来の目標への関心が深まることを期待したいです。

◎藤ノ花女子高等学校 井原 淑雅 先生

家庭科の学習は、最終的に「人のしあわせ」を思い、考え、追求し、実践していく学問です。自分の思い、考えをエッセイにして、家庭科の学習を深めるためや、コミュニケーション力、表現力を養うためにも有効であると思ったからです。

◎長崎県立長崎西高等学校 前田 恵美子 先生

今回、初めて応募させていただきました。原稿を書き上げた生徒たちの中には満足げな表情がみられ、やってよかったと思いました。一方で、教員として指導のあり方は考えさせられました。生徒たちがだれかに伝えたいと心から思ったことが何なのか、それをどのように引き出すことができるのか。日頃の自分自身が生徒たちやいろいろな方々にどのように接してきたかを振り返り、またチャレンジできたらと考えています。

◎八戸工業大学第二高等学校 下佐 順子 先生

「文化・芸術分野入学試験」

この入学試験では、文化系部活動や各種研究大会等の結果を評価します！出願資格の一つとして、「各分野（*1）のコンクール・コンテストなどにおいて高校生として優れた実績を有する方」を位置づけています。

（*1）吹奏楽、合唱、放送、囲碁、将棋、ボランティア、実業系高校の各種研究大会等。

この「エッセイコンテスト入賞」も左記の出願資格としてみなされます。本入学試験の募集学部・学科、専攻・専修、定員、出願資格等の詳細は、入試ガイド・入学試験要項をご確認ください。入学試験に関するお問い合わせは、日本福祉大学入学広報課（TEL:0569-87-2212）までお願いいたします。

「36℃の言葉」エッセイを書くときのポイント

◎自分ならではの視点を見つけよう。

文章力も大切ですが、「いいところに気づいたね」という独特な視点を大事にしたいです。「36℃の言葉」とは作者自身の体温（体験）が伝わることを期待したものです。体験にもとづく作者なりの見方・考え方などに是非、挑戦してみてください。

◎作品タイトルを工夫しよう。

作品タイトルや書き出しに工夫が見られると読み手の期待感も高まります。逆に、最後の数行が無理矢理まとめた感じだと読後感が悪くなります。タイトル・書き出し・締めくくりを気を配りましょう。

◎自分の言葉で表現しよう。

「エッセイを書く」「応募する」となると、つい背伸びをしてしまって、無理に難しい漢字を使う場合があります。平凡な言葉でも、吟味して選りぬいた自分の言葉で表現すると、読者の心をつつエッセイになります。

◎会話文をうまく使おう。

会話文をうまく使うと、文章が生き生きとした表現になります。日常的に使っている会話を書いた方がその人らしさが出て、強い印象が残ります。

◎身のまわりや社会の事象に対して関心をもとう。

「どうして?」「なぜだろう?」「私との関わりは?」日頃から、身のまわりや社会の事象に対して関心をもつことで、「これを書きたい」という素材がきっと見つかります。興味がいってきいたら、さらに本を読んだり、体験してみたりすると自分の考えも深まり、あらたな気づきもあるでしょう。表現することがきっかけとなり、社会を動かすこともできます。思いを巡らしながら書いてみましょう。

◎誤字脱字は減点の対象に。

どんなに内容が良くても、誤字脱字があると減点の対象になります。また、読み手を意識して段落分けをし、読みやすい文にすることは有効なテクニック。書き終わったら、必ず読み返してみましょう。

導入教育の教材として『はじめてのふくし*』もぜひ活用ください。

■第14回を振り返って

第14回も全国の多くの生徒や学校から応募があり、応募総数は8,592点でした。今回は、2020年東京オリンピック・パラリンピックを展望して、新しい分野として「スポーツとわたし」（第2分野）を設けたのですが、初年度であるにもかかわらず1,940点の応募がありました。応募者には何らかのスポーツを行っている方が多く、スポーツを通して人間的に成長していくプロセスがイキイキと描かれていました。



第14回の授賞式の様子。賞状と記念品が手渡されました。

*「ふくし」を幅広い視点から理解していただく小冊子。ご希望の方は、以下の資料請求先、もしくは作品送付シートにてお知らせください。

審査員からのメッセージ

自分を信じ、表現する勇気。

目を大きく開いて、まず自分のまわりを若者らしい自由な眼で見ることから始めましょう。

必ずそこにびっくりするような発見があるはず。それはだれのものでもないあなただけの発見です。その時自分が感じたこと、考えたことを大切にしてください。

そこから他の人にも通じ合える普遍性をもったものが育っていくのです。エッセイを書くことはそこからしか始まりません。一番大切なのはあなた自身です。

評価を気にせず、自由な気持ちで書いてください。自由な気持ちがあれば、なにごとにも生まれてきません。今若い人たちに求められているのは、自分を信じ、表現する勇気です。

36℃の体温が発する、だれのものない力あふれる作品を期待します。



角野 栄子

作家、日本福祉大学客員教授。1957年早稲田大学教育学部卒業。『スポン船長さんの話』で旺文社児童文学賞、『おどろぼうプラブラ氏』で産経児童出版文化賞大賞、『魔女の宅急便』でBBYオナーリスト文学賞、野間児童文芸賞、小学館文学賞を受賞。2014年旭日小児章を受章。

審査員紹介 角野 栄子(作家、日本福祉大学客員教授)／杉山 邦博(元NHKアナウンサー、日本福祉大学客員教授)／川名 紀美(元朝日新聞社論説委員、日本福祉大学客員教授) 久野 研二(国際協力機構[JICA]国際協力専門員、日本福祉大学客員教授)／金澤 泰子(書家、日本福祉大学客員教授) 板垣 哲也(朝日新聞社論説委員)／原田 絵里子(マナビジョンブック編集部編集長)／児玉 善郎(日本福祉大学学長)

日本福祉大学

2017年、日本福祉大学は大学開設60周年を迎えます

◆問い合わせ・資料請求先

日本福祉大学教育文化事業室 〒460-0012 名古屋市中区千代田5-22-32
TEL:052-242-3045 Eメール:17essay@m1.n-fukushi.ac.jp
ホームページ(エッセイコンテスト) <http://www.n-fukushi.ac.jp/50th/essay/>

◆作品送付先 ※詳細は、募集要項をご覧ください

株式会社TADコーポレーション「日本福祉大学高校生福祉文化賞」事務局
〒520-1102 滋賀県高島市野田1678

第15回 大学開設60周年記念

高校生福祉文化賞エッセイコンテスト



高等学校の先生方へのご案内

授業の一環として役立てていただいています

国語表現の
時間に

小論文の
指導に

福祉の
時間に

家庭科の
時間に

◆主催／日本福祉大学、朝日新聞社
◆後援／文部科学省、愛知県教育委員会、日本青年団協議会、日本赤十字社、ベネッセグループ(株)進研アド

地域に根ざし、世界をめざす「ふくしの総合大学*」
日本福祉大学

自分の思いを書いて表現することは、他者と分かり合うことにつながる。

近頃の高校生は書く力が衰えている。自分の思いを的確に表現するのが苦手。

そのように感じるからこそ書く力を鍛えようと、全校を挙げて取り組んでいる高校があります。

「第14回高校生福祉文化賞エッセイコンテスト」で学校賞を受賞した

日本女子大学附属高校の芹澤先生に、授賞式後にお話を伺いました。



日本女子大学附属高等学校

みか 芹澤 笑嘉 先生

<p>日本女子大学附属高等学校 (神奈川県川崎市)</p>	
1901年創立。「自覚自動」を教育方針とし、学習面だけでなく、生活面においても様々な自治活動の機会を設け、リーダーシップや協調性を身につける。30を超えるクラブがあり、全国大会出場などの実績がある。	

NEWS 2020 (平成32) 年度から導入される「大学入学希望者学力評価テスト(仮称)」

「大学入学希望者学力評価テスト(仮称)」で問われる内容は、習得した「知識・技能」の確認にとどまらず、「思考力・判断力・表現力」を多面的かつ総合的に評価を行う予定です。

新テストに合わせ、エッセイ(小論文)やプレゼンテーションなどを使った選抜方法が検討されており、新テスト指導において、エッセイがより注目されています。

国語表現の一環として、全校生徒が福祉エッセイに取り組む。

本校は伝統的に作文教育に力を入れており、国語の授業や夏冬の長期休暇を利用し、年間8本の課題作文を書かせています。エッセイコンテストも毎年5月に、全校生徒が参加。事前に4テーマを各教室に掲示し、各自が好きなテーマを選んで書いています。デリケートな内容で公表したくない、という生徒を除いて、約9割の生徒がコンテストに応募します。教員だけでなく外部の選考委員の方々の日にとまるチャンスとあって、俄然やる気になる生徒もおり、恒例行事となっています。

福祉に関しては、本校の大多数が進学する日本女子大学に社会福祉学科があるほか、課外活動において人形劇クラブが福祉施設で上演したり、弦楽部が病院で演奏したり、というボランティアを積極的に取り入れています。社会福祉を身近に感じられる環境にも恵まれています。

日々感じていることを学年を問わず、自由に表現できる貴重な場。

作文指導で留意しているのは、良いところを指摘し、決してマイナスの評価はしないことです。ステレオタイプの表現ではなく、自分だけの思いを自分なりの言葉で書くことを大いに褒め、コンテスト応募作にも教員が手を入れることはほとんどありません。小論文とは違い、日々感じていることを全学年が素直に自由に書けるので、このエッセイコンテストはありがたい機会です。

適切な言葉を用いて書く力を磨くことは、結局は他者と分かり合うことにつながると思います。他者の幸せを願い、自分の幸せを追求すること。これは福祉の概念にも通じますが、他者と理解しあい互いに幸せな関係性を築くためには、まずは言葉で表現しなければなりません。将来どんな社会の構成員になっても、自分の思いを相手に伝えるために、書く力が必要不可欠なんです。

10万人以上の「言葉」を受け止めて、今年は第15回を迎えます。

高校生福祉文化賞エッセイコンテストは、日本福祉大学の学園創立50周年記念事業の一環として、2003年度に始まりまし。

次代を担う若いみなさんに新鮮な目で「ふくし」を見つめ直してほしいという願いが込められています。これまでに、延べ10万人を超える高校生たちの言葉を受け止めてきました。本企画への参加が、応募者一人ひとりにとって、改めて「ふくし」に向き合う機会になれば、主催者にとってこれほどうれしいことはありません。

第14回応募結果

第14回高校生福祉文化賞エッセイコンテストに寄せられた応募作品総数は8,592点。最も応募が多かったのは、分野①「ひと・まち・暮らしのなかで」でした。高校生がそれぞれの思いでつづった「36℃の言葉」——体温の伝わるエッセイの中から審査の結果、最優秀賞4作品、優秀賞8作品、審査員特別賞4作品、計16作品、学校賞3校に以下のみなさんが選ばれました。なお、入賞した作品の全文は日本福祉大学ホームページに掲載しています。また、ご希望の方には、入賞作品集を無料でお送りします。

<ul style="list-style-type: none">受賞者一覧	<ul style="list-style-type: none">都道府県別応募数内訳
<ul style="list-style-type: none">最優秀賞 <div> <div>分野① 大庭 穂香 さん</div> <div>大阪市立南高等学校1年</div> </div> <div> <div>分野② 品田 真優 さん</div> <div>田園調布雙葉高等学校2年</div> </div> <div> <div>分野③ 藤守 麗 さん</div> <div>昭和女子大学附属昭和高等学校3年</div> </div> <div> <div>分野④ 原田 依奈 さん</div> <div>横浜雙葉高等学校3年</div> </div>	

第14回応募高等学校一覧 (都道府県内50音順) ※高等学校名は、作品応募時の校名を記しています。

<ul style="list-style-type: none">北海道 <div> <div>札幌龍谷学園高等学校</div> <div>北海道池田高等学校</div> <div>北海道枝幸高等学校</div> <div>北海道江別高等学校</div> <div>北海道寿都高等学校</div> <div>立命館慶祥高等学校</div> </div>	<ul style="list-style-type: none">千葉県 <div> <div>渋谷教育学園葛張高等学校</div> <div>翔凪高等学校</div> <div>千葉県立佐原白楊高等学校</div> <div>千葉県立松尾高等学校</div> <div>千葉県立薬園台高等学校</div> <div>千葉県立四街道高等学校</div> </div>	<ul style="list-style-type: none">新潟県 <div> <div>新潟県立柏崎工業高等学校</div> <div>新潟県立柏崎高等学校</div> <div>新潟県立柏崎総合高等学校</div> <div>新潟県立上越総合技術高等学校</div> </div>	<div> <div>愛知県立南陽高等学校</div> <div>愛知県立横須賀高等学校</div> <div>桜花学園高等学校</div> <div>岡崎学園高等学校</div> <div>海陽中等教育学校</div> <div>クラーク記念国際高等学校</div> <div>名古屋国際高等学校</div> <div>名古屋市立西陵高等学校</div> <div>名古屋市立富田高等学校</div> <div>名古屋大学教育学部附属高等学校</div> <div>日本ウェルネス高等学校</div> <div>名古屋キャンパス</div> <div>日本福祉大学付属高等学校</div> <div>光ヶ丘女子高等学校</div> <div>藤ノ花女子高等学校</div> </div>	<div> <div>兵庫県立三木東高等学校</div> <div>兵庫県立武庫荘総合高等学校</div> </div>	<ul style="list-style-type: none">高知県 <div> <div>高知県立高岡高等学校</div> </div>
--	---	---	--	--	---

<ul style="list-style-type: none">青森県 <div> <div>青森県立八戸工業高等学校</div> <div>八戸学院光星高等学校</div> <div>八戸工業大学第二高等学校</div> </div>	<ul style="list-style-type: none">東京都 <div> <div>都文館グローバル高等学校</div> <div>岩倉高等学校</div> <div>吉祥女子高等学校</div> <div>クラーク記念国際高等学校</div> <div>京華商業高等学校</div> <div>国際基督教大学高等学校</div> <div>駒沢学園女子高等学校</div> <div>渋谷教育学園渋谷高等学校</div> <div>城北高等学校</div> <div>昭和女子大学附属昭和高等学校</div> <div>女子学院高等学校</div> <div>女子聖学院高等学校</div> <div>巣鴨高等学校</div> <div>大東文化大学第一高等学校</div> <div>長野県飯田風越高等学校</div> <div>多摩大学目黒高等学校</div> <div>中央大学高等学校</div> <div>田園調布学園高等部</div> <div>田園調布雙葉高等学校</div> <div>東京学芸大学附属国際中等教育学校</div> <div>東京都立青山高等学校</div> <div>東京都立板橋有徳高等学校</div> <div>東京都立国際高等学校</div> <div>東京都立狛江高等学校</div> <div>東京都立新宿山吹高等学校</div> <div>東京都立白鷗高等学校</div> <div>東京都立東久留米総合高等学校</div> <div>東京都立美原高等学校</div> <div>東洋英和女学院高等部</div> <div>日本女子体育大学附属二階堂高等学校</div> <div>早稲田大学高等学院</div> </div>	<ul style="list-style-type: none">富山県 <div> <div>富山県立小杉高等学校</div> <div>不二越工業高等学校</div> </div>	<ul style="list-style-type: none">和歌山県 <div> <div>智辯学園和歌山高等学校</div> <div>和歌山県立田辺高等学校</div> </div>	<ul style="list-style-type: none">鳥取県 <div> <div>鳥取県立鳥取湖陵高等学校</div> </div>	<ul style="list-style-type: none">佐賀県 <div> <div>佐賀県立武雄高等学校</div> <div>佐賀県立太良高等学校</div> <div>東明館高等学校</div> </div>
---	---	--	--	---	--

<ul style="list-style-type: none">宮城県 <div> <div>仙台育英学園高等学校</div> <div>第一学院高等学校</div> <div>仙台キャンパス</div> <div>常盤木学園高等学校</div> <div>宮城県田尻さくら高等学校</div> <div>宮城県富谷高等学校</div> <div>宮城県登米高等学校</div> <div>宮城県名取高等学校</div> </div>	<ul style="list-style-type: none">山梨県 <div> <div>日本航空高等学校</div> <div>山梨学院高等学校</div> <div>山梨県立都留高等学校</div> </div>	<ul style="list-style-type: none">三重県 <div> <div>暁高等学校</div> <div>桜丘高等学校</div> <div>鈴鹿工業高等専門学校</div> <div>三重県立あけぼの学園高等学校</div> <div>三重県立伊賀白鳳高等学校</div> <div>三重県立いなべ総合学園高等学校</div> <div>三重県立津高高等学校</div> </div>	<ul style="list-style-type: none">島根県 <div> <div>島根県立津和野高等学校</div> <div>島根県立遼摩高等学校</div> <div>島根県立松江農林高等学校</div> </div>	<ul style="list-style-type: none">岡山県 <div> <div>岡山県立井原高等学校</div> <div>南校地</div> <div>岡山県立岡山南高等学校</div> <div>岡山県立倉敷中央高等学校</div> <div>岡山県立陽高高等学校</div> <div>岡山県立天高高等学校</div> <div>岡山県立玉野光南高等学校</div> <div>岡山県立真庭高等学校</div> <div>落合校地</div> <div>岡山県立和気岡谷高等学校</div> <div>倉敷市立倉敷翔南高等学校</div> </div>	<ul style="list-style-type: none">滋賀県 <div> <div>滋賀県立草津高等学校</div> <div>滋賀県立八幡高等学校</div> </div>
--	---	---	--	---	---

<ul style="list-style-type: none">長野県 <div> <div>インターナショナルスクール オフ・アジア・軽井沢</div> <div>長野県飯田風越高等学校</div> <div>長野県下高井農林高等学校</div> <div>長野女子高等学校</div> </div>	<ul style="list-style-type: none">岐阜県 <div> <div>岐阜県立恵那農業高等学校</div> <div>岐阜県立大垣桜高等学校</div> <div>岐阜県立大垣養老高等学校</div> <div>岐阜県立郡上北高等学校</div> <div>岐阜県立郡上高等学校</div> <div>岐阜聖徳学園高等学校</div> </div>	<ul style="list-style-type: none">静岡県 <div> <div>加藤学園高等学校</div> <div>静岡県立熱海高等学校</div> <div>静岡県立小山高等学校</div> <div>静岡県立天竜高等学校</div> <div>春野校舎</div> <div>静岡県立富岳館高等学校</div> <div>静岡県立富士宮北高等学校</div> <div>静岡県立三島南高等学校</div> <div>静岡県立焼津水産高等学校</div> <div>清水国際高等学校</div> <div>常葉学園橋高等学校</div> <div>浜松海の星高等学校</div> </div>	<ul style="list-style-type: none">京都府 <div> <div>京都市立伏見工業高等学校</div> <div>京都聖母学院高等学校</div> <div>京都橘高等学校</div> <div>京都府立久美浜高等学校</div> <div>京都府立南陽高等学校</div> <div>花園高等学校</div> <div>洛南高等学校</div> </div>	<ul style="list-style-type: none">広島県 <div> <div>盈進高等学校</div> <div>呉市立呉高等学校</div> <div>広島県立三津田高等学校</div> <div>広島県立庄原実業高等学校</div> <div>広島県立千代田高等学校</div> <div>広島県立高等学校</div> <div>広島三育学院高等学校</div> </div>	<ul style="list-style-type: none">大阪府 <div> <div>大阪教育大学附属高等学校平野校舎</div> <div>大阪国際大和田高等学校</div> <div>大阪市立南高等学校</div> <div>大阪桐蔭高等学校</div> <div>大阪府立貝塚高等学校</div> <div>大阪府立千里青雲高等学校</div> <div>関西学院千里国際高等部</div> <div>東芝富田林高等学校</div> <div>初大谷高等学校</div> </div>
--	---	---	---	---	--

<ul style="list-style-type: none">静岡県 <div> <div>加藤学園高等学校</div> <div>静岡県立熱海高等学校</div> <div>静岡県立小山高等学校</div> <div>静岡県立天竜高等学校</div> <div>春野校舎</div> <div>静岡県立富岳館高等学校</div> <div>静岡県立富士宮北高等学校</div> <div>静岡県立三島南高等学校</div> <div>静岡県立焼津水産高等学校</div> <div>清水国際高等学校</div> <div>常葉学園橋高等学校</div> <div>浜松海の星高等学校</div> </div>	<ul style="list-style-type: none">神奈川県 <div> <div>旭丘高等学校</div> <div>アレセア湘南高等学校</div> <div>神奈川県立愛川高等学校</div> <div>神奈川県立上清高等学校</div> <div>神奈川県立湘南高等学校</div> <div>神奈川県立瀬谷高等学校</div> <div>神奈川県立鶴見高等学校</div> <div>神奈川県立栗野総合高等学校</div> <div>神奈川県立藤沢総合高等学校</div> <div>神奈川県立二俣川看護福祉高等学校</div> <div>川崎市立川崎高等学校</div> <div>中央大学附属横浜高等学校</div> <div>日本女子大学附属高等学校</div> <div>法政大学第二高等学校</div> <div>山手学院高等学校</div> <div>横浜清風高等学校</div> <div>横浜雙葉高等学校</div> </div>	<ul style="list-style-type: none">徳島県 <div> <div>徳島市立高等学校</div> </div>	<ul style="list-style-type: none">香川県 <div> <div>香川県立小豆島高等学校</div> </div>	<ul style="list-style-type: none">愛媛県 <div> <div>愛媛県立今治高等学校</div> <div>清美高等学校</div> <div>新居浜工業高等専門学校</div> <div>松山城南高等学校</div> <div>引羽船高専専門学校</div> </div>	<ul style="list-style-type: none">海外 <div> <div>Schaumburg High School</div> <div>メリーランド州立ウエストンチャーナル高等学校</div> <div>United World College of South East Asia(UWC)</div> </div>
---	---	---	--	---	--

